

学校機能評価委員会報告

< Report from the College Evaluation Committee >

本委員会では「学校機能評価規程」に基づき活動を行ってきた。この数年で自己点検評価と学校関係者評価委員会を軸に、年間の PDCA サイクルが回るようになり、教育の質向上・業務改善に結びつけている。

1. 学校機能評価委員会の取り組み

- (1) 学校関係者評価委員会（6月）を実施して外部委員の方々との意見交換を行った。学校関係者評価委員会報告については別途報告書をまとめ公開している。
- (2) 2023年度の重点項目と担当者を決めて改善に取り組んだ。前期終了後に進捗状況の確認を行い、年度末に各担当者が取り組み状況報告書を作成することにより成果を検証したので以下に記載する。

2. 2023年度重点項目への取り組み成果

(1) 定員充足

学校認知度の向上を図るため、各種 SNS で定期的な情報発信や、イベント等、地域貢献事業を推進した。また高校との連携を図るため、高校訪問や連携講座、高校ガイダンス等へ参加した。

理学療法学科は定員の 8 割に達し、作業療法学科は定員に達した。SNS を活用した広報に取り組み、Instagram のフォロワーは年度当初から倍増した（480 名から 900 名程に増加）。

リクルートの入念な打ち合わせを実施し、年度内に職場内研修を 2 回実施した。次年度は研修で得た手法を実践し、定員充足を目指す。

(2) 国家試験合格率 100%達成、国家試験対策教育の充実

4 年生へは早期から学習開始できるよう学習アプリや動画コンテンツを活用した国家試験勉強を導入した。また 1~3 年生の低学年へも e-Learning を活用した国家試験勉強を導入し、全学年で 1 年間継続して取り組めた。従来の Moodle に加えスマコクを導入し、これらを活用した結果、学習コンテンツの質が高まり、成績不良者には積極的に個別指導、居残り学習等行った結果、当初の見込みよりも合格率はアップしたが、100%は達成できなかった。

第 59 回国家試験では、OT 学科は 14/16 名（87.5%）、PT 学科は名 19/21 名（90.5%）であった。次年度に向けて改善計画に基づき、合格率 100%を目指す。

(3) データ管理に関するマニュアル作成（ペーパーレス化、データ整理）

学生・保護者連絡のために MyiD を活用し、円滑な連絡を図ることができたが、保護者等の登録が 88%に留まった。

データ管理のマニュアル化を図り、不使用ファイルの精査とマニュアルの作

成を行ったが、全体周知とデータ整理は未着手のままである。

写真データなど普段使用しないが保存が必要なデータは、別途 HDD にバックアップし、サーバー上から削除した。

実習関連書類のデジタル化とクラウド上での配布を実施し、コスト削減と、印刷・配布に関わる労力の削減につながった。

年々肥大化している不要ファイルの整理が急務であり、マニュアルの周知と実行が今後の課題である。